

令和8年度春季高校総体サッカー競技大会
兼全国高校総合体育大会県予選会
兼第62回北信越高校サッカー選手権大会予選会

1. 主催 福井県高等学校体育連盟
2. 共催 福井県教育委員会 (公財) 福井県スポーツ協会
3. 主管 福井県高等学校体育連盟サッカー専門部
4. 期日 令和8年5月30日(土) 6月1日(月) 6月3日(水) 5日(金) 7日(日)
予備日5月31日(日) 2日(火) ※女子は予選は行わない
5. 会場 日東シンコースタジアム丸岡人工芝(5/30・6/1・3)
三国運動公園人工芝(5/30・6/1・3)
テクノポート福井スタジアム(6/5・7)
6. 5 競技規則 (1) (公財)日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則 2025/26」による。
(2) 本大会はキャプテンオンリーを適用し、「キャプテンオンリー」ガイドラインに則り実施する。
(3) 試合開始前に、スターティングメンバーと9名以内の交代要員の氏名を主審に通告しておき、その交代要員のうち、5名まで主審の許可を得て交代することができる。
ア 選手交代は、交代回数を前半、後半合わせて3回までとする。(1回に複数人を交代することは可能)
イ ハーフタイム、延長戦に入る前のインターバルおよび延長戦のハーフタイムでの選手交代は、交代回数に含まれない。
ウ 延長戦が行われる場合、さらに1名かつ1回の交代を行うことができる。(直前の70分間と合わせて、最大6名かつ4回の交代が可能となる)
(4) 脳振盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱いは、次の通りとする。
ア 脳振盪またはその疑いのある選手の交代(以下「脳振盪交代」)は、通常交代に含まれない。
イ 脳振盪交代は、通常交代と判別できる、別途指定する手続きで行われなければならない。チームが脳振盪交代を行うこととした場合、「脳振盪交代」の交代用紙を用いて、主審及び第4の審判員に知らせるものとする。脳振盪交代をした競技者は、できる限り関係者に付き添われ、更衣室や医療施設に行かなければならない。
ウ 脳振盪交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および脳振盪交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。(例)「脳振盪交代(1名)」と「通常交代(○名)」を同時にする場合は、【「脳振盪交代」：1人1回】+【「通常交代」：○人1回】、合計2回とカウントする。
エ 脳振盪交代をした場合、相手チームは通常交代とは別に、1名1回の交代を追加で得ることができる(以下「追加交代」)。チームが追加交代を行う場合、「追加交代」の交代用紙を用いて主審及び第4の審判員に知らせるものとする。
オ 追加交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および追加交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。(例)「交代(1名)」と「通常交代(○名)」を同時にする場合は、【「追加交代」：1人1回】+【「通常交代」：○人1回】、合計2回とカウントする。
カ 1試合における各チームの脳振盪交代および追加交代の交代人数は、それぞれ1名とする。
キ 【脳振盪参考資料】JFA ホームページ「メディカル・脳振盪」
【脳振盪確認内容】
(ア)脳振盪の見極め (イ)脳振盪の対処 (ウ)脳振盪からの復帰プログラム
(5) 今大会において退場を命じられた競技者は、大会を問わず次の公式試合1試合に出場できず、それ以降の処置については、大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。
(6) 今大会において2回の累積警告を受けた競技者は、次の1試合の出場資格を失う。
(7) ベンチに入ることのできる人数は、選手9名(交代要員)及び役員5名計14名を最大とする。

(8) ユニフォームについて

ア シャツの前面・背面に参加申込書に登録された選手固有の番号を付けること。ショーツの番号については付けることが望ましい。(番号は1番から28番までの通し番号とする)副ユニフォームについても同様である。

イ 正副2着を必ず携行すること。(副はシャツ、ショーツ、ソックスそれぞれ正と明瞭に区別された異色のものであること)

ウ 服地が縞柄等であって、明確な識別が困難なときには、台地を付ける。

エ チームのユニフォーム(ゴールキーパーのユニフォームを含む)のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。

オ 参加申込以降のユニフォームの変更は認めない。なお、番号の変更も認めない。

カ ユニフォーム広告については(公財)全国高等学校体育連盟「競技者及び指導者規程」、第4条(競技者の禁止事項)により禁止する。

キ チームキャプテンは、アームバンドを着用しなければならない。単色のアームバンド。それには、「キャプテン」という単語、もしくは「C」という文字やその翻訳された単語・文字も入れることができるが、単色でなければならない。なお、キャプテンは、スローガン、メッセージ、イメージおよび広告に関しては、(公財)日本サッカー協会のユニフォーム規程に一致したシンプルなアームバンドを着用しなければならない。

ク その他項目については(公財)日本サッカー協会のユニフォーム規程(2022年2月10日改正)に基づいたユニフォームを使用しなければならない。

7. 競技方法

(1) トーナメント方式による。

(2) 試合時間は70分(35分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバルは原則として10分間とする。勝敗が決しない場合は、20分(10分ハーフ)の延長戦を行い、なお勝敗が決しない場合は、PK戦により優勝校を決定する。

(3) 3位決定戦は行わない。

(4) 準決勝からは指定された場所で、キックオフ70分前にマッチコーディネーションミーティングを行う。ユニフォームの確認では、ベンチで着るビブスも持参する。マッチコーディネーションミーティングは監督が参加するものとする。

8. 引率・監督

(1) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、当該都道府県高体連会長に事前に届け出る。

(2) 監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。但し、各都道府県における規定があり、引率・監督がこの基準より限定された範囲内であればその規程に従うことを原則とする。

9. 参加資格

(1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。

(2) 選手は、都道府県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該競技専門部に登録し、当該競技実施要項により全国大会の参加資格を得た者に限る。但し、都道府県高等学校体育連盟に専門部が設置されていない種目については、加盟校の生徒であることとする。

(3) 令和8年度(公財)日本サッカー協会に登録を完了した者とする。

(4) チーム責任者は、原則として(公財)日本サッカー協会に登録された選手の登録選手一覧(顔写真有り)を所持すること。選手証の提示を求められた際には(公財)日本サッカー協会WEB登録システム「KICKOFF」画面の選手証・登録選手一覧を、スマートフォンやPC等にて表示したものを示すこと。

- (5) 選手は、平成 19(2007)年 4 月 2 日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技 3 回までとし、同一学年での出場は同一競技 1 回限りとする。(「出場」とは登録やエントリーではなく、試合への出場回数を指し、専門部が責任を持って調整・確認する。) 大会参加資格を満たし、日程等が重ならない場合は複数競技への参加を認め
- (6) チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (7) 以下の場合に限り、複数校合同チームの大会参加を認める。ア 部員不足に伴う合同チーム(都道府県高等学校体育連盟会長により予選会から参加が認められた場合)詳細は、本連盟が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム参加規程」と専門部が定める「競技別部員不足に伴う複数校合同チーム参加ガイドライン」による。イ 統廃合対象校による合同チーム(統廃合完了前の 2 年間に限る)
- (8) 転校・転籍後 6 ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる) 但し、一家転住などやむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りではない。大会開始前のエントリー変更期限前に 6 ヶ月が経過し出場資格が発生した場合、団体競技種目や団体戦では、エントリー変更のルールがある場合には、そのルールに従って変更を認める。
- (9) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属する高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (10) 参加資格の特例
 ア 上記(1)(2)に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断され、都道府県高等学校体育連盟会長が推薦した生徒について、別途に定める規程に従い大会参加を認める。
 イ 上記(5)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技 3 回までとする。

【大会参加資格の別途に定める規程】

- 1 学校教育法第 72 条、115 条、124 条及び 134 条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加が認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
 - ア (公財)全国高等学校体育連盟の目的を理解し、それを尊重すること。
 - イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修学年限とも高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ 各学校にあっては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。
 - エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもと適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失することなく、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア 全国高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目別大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 大会参加に際しては、万一の事故の発生に備えて傷害・賠償責任保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

10. 表彰
1位から3位までに賞状を授与する。
(優勝チームには優勝旗及び優勝杯を授与する。)
資格 本大会の優勝チームは下記大会の出場権を得る。
(1) 全国高等学校総合体育大会サッカー競技(1チーム)
(2) 北信越高校サッカー選手権大会(2チーム)
11. 参加料
11,000円(各学校が一括して高体連に納入すること)
15,000円(準加盟校のみ)
12. 申込方法
福井県サッカー協会のHPより参加申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、期日までに電子データで下記アドレスに申し込んでください。なお校長印を押印した参加申込書は、郵送するか抽選会当日に持参してください。※女子も申し込みを行うこと
メールアドレス y-kosaka-p5@fesc.ed.jp
〒910-0316 福井県坂井市丸岡町篠岡23-11-1
丸岡高等学校内 小 阪 康 弘 宛
13. 申込期限
令和8年5月13日(水)正午(電子データ必着)
14. 抽選会
令和8年5月13日(水)15時00分 丸岡高校松柏会館
※女子は1チームのみの加盟のため抽選会は行わない。